１２月９日　　**テーマ：「旅人をもてなす」**

聖書個所：ローマ人への手紙１２章１３節

◆今日のみことば

> 聖徒の入用に協力し、旅人をもてなしなさい。
>
> ローマ人への手紙12章１３節

◆メッセージ

パウロさんからローマにいるイエスさまを信じている人々へのお手紙が続きます。これまで「心からお互いに愛し合うこと」「神さまにいつも従うこと」「絶えずお祈りすること」を学びましたね。そして、今日は、「旅人をもてなしなさい。」ということを学びます。

さて、みなさんもいろんなところに旅行に行ったことがあると思いますが、お家から離れて、特にまだ行ったこともないようなところに行くのはワクワクしますね。そして行った先で親切にしてもらったり、困ったことが起きたら助けてもらったりすると、とてもうれしくなります。

当時、聖書に書かれているローマの時代は、今のような便利な世の中ではありませんでした。飛行機も車も新幹線もなく、素敵なホテルもありませんでした。旅をするのは、とても大変でした。パウロさんもたくさんの旅をしながら、神さまのお話をたくさんの人にしましたが、船が沈没しそうになったり、悪い人に襲われたり、食べるものがなかったり、寒さで凍えそうになったり大変な目にたくさん会いました。でも、その度に行く先々で、いつも神さまはパウロさんを守ってくださり、いろんな人を通して必要な助けを与えてくださいました。

私たちは今日のみことばからどんなことを学んだらいいでしょう。家に人が泊まりに来たり、一緒に食事したりすることはありますか。そういうお客さんを喜び、嬉しい気持ちを伝えましょう。お友だちにも、持っているものを分かち合うことができますね。

パウロさんは、たくさんの旅の最後にこんなことを言いました。「このように労苦して弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきこと。使徒の働き２０章３５節」。今日も神さまが出会わせてくださる人に対して、愛を与えることができるようにお祈りしましょう。

◆お祈り

「今日出会う人に対して、愛を与えることができるように助けてください。」

（茨木聖書教会伝道師　吉持早稚子）